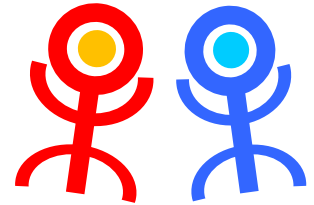


たましろの郷より

8月号

たましろの様子や今後の予定をお伝えするページです。



☆施設からの報告

◆たましろの郷の職員について 各部署の職員と配置

先月号でもお伝えしたように、4月より「入所授産施設」から日中は「生活介護施設」、夜間は「施設入所支援施設」と2つに分けられ、「通所授産施設」は「生活介護施設」に移行となりました。

今回は、「生活介護施設」及び「施設入所支援施設」に必要な職種と人数についてお伝えしたいと思います。

まず、「生活介護施設」ですが、法律上必ず配置する職種を下に示しました。

- ・施設長：常勤職員で1名
- ・サービス管理責任者：常勤職員で1名
- ・生活支援員：利用者5名に対して常勤換算1名
- ・看護職員：常勤換算1名以上

※常勤換算とは、その職種の職員の1ヶ月の総勤務時間を1ヶ月の常勤職員が勤務する時間で数で割った数字です。

例・A職員 160時間

B職員 120時間 →A+B+C=360時間→360÷160(1ヶ月の勤務時間)=2.25

C職員 80時間

↑

この数字が常勤換算人数となります。
(頭数は3人ですが、換算すると2.25人)

この基準を満たしていれば、とりあえずの施設運営は認可されますが、たましろの郷では

- ①ろう重複者に対する手厚い支援を行うために基準以上の職員配置。
- ②現在、生活支援員は利用者3名に対して職員1名の配置。
- ③また、食事提供のために栄養士と調理員を雇用(施設入所支援を行う時には栄養士を配置しなくてはなりません)
- ④その他にも、総務部門として事務職員・用務・運転職員が働いており、どの職種も欠けてはならない仕事をしています。

「施設入所支援施設」は夜勤職員が1名いれば良いことになっていますが、たましろの郷では同性介護の観点から毎日男性1名、女性1名の計2名の職員を配置しています。

しかし、国からの報酬は上記の職種配置に対してのみの評価で、職員の配置によっては加算という形で報酬が上乘せされますが、利用者にとって重要な食事を作る職員、利用者の諸手続きに必要な職員、施設の送迎に必要な職員は、報酬上全く評価されていないのです。

とはいえ、これらの職種を無くしてしまうわけにはいきません。限りある資

金の中からはなんとかやりくりして各部署で働いています。もし、毎月の後援会からの1000万円の償還寄付金が無ければ、今の雇用を維持する事はできません。

改めて今までのご協力に感謝し、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

☆虫歯はないかな？ 歯科検診を行いました

以前お伝えしたように、歯科検診を行いました。

6月12日(木)、高野歯科クリニックによる、年に1度恒例の健診です。高野先生は、手話ができ、なかまに分かりやすく説明して下さる大変心強い歯医者さんです。

施設から、高野歯科クリニックに通院しているなかまもいます。

健診でも、「しっかり口を開けて」と手話で伝えてくれるので、なかまも怖がらずに大きく口を開けることができました。

日常生活支援としてハミガキの練習に励んだり、通院して歯石を取ったり虫歯の治療を行ったおかげで、全体的に口の中が良い状態になりました。

健診のあと、高野先生から「上手に磨けているね」と「歯みがきOKカード」をいただきました。

カードはポイントカードになっていて、上手にハミガキをすると、1回につき1枚シールを貼ってもらえます。シールが20枚たまると、素敵なプレゼントがもらえるという仕組みになっています。どこかのコンビニのキャンペーンや食パンの宣伝と同じ仕組みですが、これがなかまには好評！

毎日朝、昼、夜とハミガキの機会がありますが、それぞれ、磨き終わると職員のところにカードを持ってきます。磨き残しが無いか？確認し、OKならシールを貼ってもらうのです。

先日、さっそく20枚のシールを集めたなかまがいました。7月の誕生会で名前を発表し、プレゼントをもらいました。

プレゼントとは…?? 歯の形をした、ペン立てでした！まさに歯の形で、つるつとしたフォルムがかわいいペン立てでした。

「プレゼントが欲しいから、シールを集めたいから、ハミガキをがんばる」という違和感を覚えるかもしれませんが、なかまにとって、がんばりが目で見てわかるというのが、大きな意欲につながっていると感じています。

このカード、全利用者に強制しているものではありませんが、しっかり名前を書いて持ち歩いたり、ポケットに入れたまま洗濯してしまったり落ち込んだり、2枚目3枚目と頑張ったり、意外ななかまが積極的だったり、なかまも職員も楽しく取り組んでいます。

高野先生からは、「ハミガキが、風邪の予防などの健康につながる」というお話もしていただきました。今後も、虫歯予防に努めていきます。



☆ボーナス買い物

7月12日(木)、なかまが楽しみにしていたボーナスが支給されました。そして、19日(木)、毎年恒例の「ボーナス買い物」に行ってきました。

このボーナス買い物、数年前から、夏と冬のボーナス支給に合わせて「ボーナスを持って買い物に行こう」「ボーナスで美味しいものを食べよう」と始めた企画です。初めて行った年は、近所の100円ショップに行った記憶がありますが、年々パワーアップして、行き先をなかまに希望を聞いて決めたり、飲み会をしたこともありました。

高いゲーム機などを買いたくて、このボーナス買い物に合わせてコツコツ貯金に励むなかまも出てくるようになりました。

今回は、日の出イオンモールに全員で買い物に行きました。日の出イオンは、以前「黄色いレシートキャンペーン」の記事でお伝えしたとおり、たましろとなじみの深いショッピングモールです。洋服、日用品、雑貨、レストランなどがあります。なかまは、事前に買いたい物や食べたいものをリストアップして、当日を楽しみに待っていました。

当日は、朝10時にたましろを出発。現地でボランティアさんと合流し、買物やお昼ご飯を一緒に楽しみ、15時頃たましろに帰ってきました。買物はもちろんのこと、昼食の後にクレープやアイスなどのデザートを食べるのがとても嬉しかったようです。



毎回、ボランティアさんの協力をいただき、1対1でなかまと過ごしていただくことで、1人ひとりの買いたいものや食べたいものの希望を叶えることができます。今年もどうもありがとうございました。

☆全国聴覚言語障害者福祉研究交流会のお知らせ

「第16回全国聴覚言語障害者福祉研究交流会～重度重複と高齢の聴覚言語障害者の発達と権利を考える～」を、11月17日(土)～18日(日)に渋谷区の国立オリンピック記念少年センターで行います。

昨今の高齢者・障害者福祉は「地域で共に暮らす社会」が称えられています。さらに身体・知的・精神などと区別しない3障害一体化が求められています。そんな中であって、高齢聴覚障害者専用生活施設(特養ホームなど)や、3障害一体どころか単身で複数障害を負う、少数重度“ろう”重複者の社会参加訓練を目指した専門施設を求める声が、全国各地からますます強まってきております。

こんな情勢の中で、第16回「全聴福研」東京集会が開催されることになりました。

本年度も、昨年京都集会に引き続いて、障害当事者と関係者の実践や研究の交流を通し、

①「支援法」から「総合福祉法(仮称)」への動きを見極め、その現実問題と、

課題を学び

②ますます求められて“聴覚障害者”専門施設の役割とその専門性を明らかにして、

③言語である手話が社会的に認知され、だれもが安心して暮らせる社会を築いていきます。

そんなことを目的に、全国の仲間とともに、ろう重複・高齢聴覚障害者の発達と権利の保障を求めた、大きな飛翔を目指した『集会』でありたいと願っています。

(実施要項より一部抜粋)

難しそうな集会に思えるかもしれませんが、初めての方にもわかりやすい「入門講座」もあります。より深められる文科会やなかまの集いもあります。是非、参加をご検討ください。

詳細はこちら→[チラシをリンクさせる](#)



☆夏は、実習生の受け入れシーズンです

7～9月は、実習生受け入れの季節です。

たましろの郷でも、毎年、多くの大学や専門学校から、実習生を受け入れています。

学びの目的は「社会福祉士の資格取得のため」「教員免許取得に必要な介護等体験実習」「手話通訳者の資格取得のため」など、また、実習期間もさまざまです。

実習生には、なかまと一緒に作業やレクリエーションに取り組んでもらい、期間によっては、施設内作業だけでなく、外部からの委託を受けている外勤清掃なども体験してもらっています。

手話の経験がない学生は、「なかまに何を言われているのかわからない」「どう伝えたらいいのかわからない」と悩むことも多くあります。毎日一生懸命自分なりになかまに語りかけていくうちに、「コミュニケーションには手話だけでなく、サインや身振りや表情などいろいろな方法があるんだ!」「通じるのって、こんなに嬉しいことなんだ!」と気づき、一気にコミュニケーションに積極的になっていく学生もたくさんいます。

こうしてなかま1人ひとりと接するところから、「ろう重複者の支援とは?」「ろう重複者の支援施設の存在意義とは?」と学びを深めていってくれる学生もいます。

なかまにとっても、いつもいる職員以外の人と接する良い機会となっています。職員にとっても、実習生を受け入れるというのは楽なことではありませんが、初心を思い出したり、素朴で大切な事に気付かせてもらったり、日頃の支援を見直すきっかけになることもあり、意味のある日々となっています。

大変なことも多い仕事内容ですが、なかまと接する上で楽しいなと思うことやここがたまらなく魅力なんだ!というような良い面をたくさん伝えていけたらいいなと思います。

☆東京都障害者スポーツ大会重度障害者競技会

「スポーツの集い」に参加します

9月5日(水)、たましろのなかま全員で第13回東京都障害者スポーツ大会重度障害者競技会「スポーツの集い」に参加する予定です。

この集いは、東京都とNHK厚生文化事業団の共催で、今年で13回目の開催だそうです。たましろの郷は、「スポーツを通して、作業以外での集団行動を経験し、気分転換になるように楽しもう」という目的で2006年から参

加しています。

今年は、東京体育館が改修工事のため、世田谷区駒沢体育館で開催されます。

なかまは、ボランティアさんと一緒に、大玉ころがしや小玉送り、花文字作り、リレーなどの競技を行います。リレーでは金メダルをとったこともあり、施設内とは違った大掛かりな運動が出来る楽しい行事です。

当日は全員お揃いの緑のTシャツを着て、垂れ幕やポスターなどの応援グッズも持参して、気合を入れて参加します。

今年のリレーは金メダルを狙えるかな？今から楽しみです。

走っているなかまの写真を撮るのはとても難しいのですが、次号で結果を報告したいと思います。

☆その他 最近のたましろ

◆聴覚サポート「なかま」より、寄付で乗用車をいただきました。2011年3月11日の震災以降、東北3県の聴覚障害者支援に、1年間で9万kmも走り回った車両です。施設で大切に使用していきます。



☆ボランティア募集

たましろの郷では、日中活動に協力して下さるボランティアさんを、随時募集しています。手話など、特別な技術はなくても参加できます。作業や余暇など、一緒にいて頂くだけでも大歓迎です。

○日中活動ボランティア

たましろでは、委託清掃、製菓(クッキー)の他に、軽作業、レクリエーション等の活動に取り組んでいます。手話や特別な技術よりも、一緒に過ごして楽しんでもらえるボランティアさんを、いつでも受け入れています。

施設内の主な活動

	月	火	水	木	金
午前	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業
午後	軽作業 レク	軽作業 レク	軽作業 レク	軽作業 レク	軽作業 レク

※毎日午後はレクを行っています。

レクの内容は、スポーツ、ドライブ、調理、ビデオ鑑賞、生活支援などです。

※平日は、送迎バスを利用できます。事前にお問い合わせください。

○休日余暇活動ボランティア

施設のなかま、職員と集団で一緒に過ごします。

職員と一緒におりますので、ご都合に合わせて気軽に遊びに来て下さい。

余暇の活動内容は、ボランティア情報をご覧ください。

☆8月ボランティア情報はこちら

こちらから8月のボランティア情報をご覧ください。

※ボランティア便り8月号.pdfをリンク。